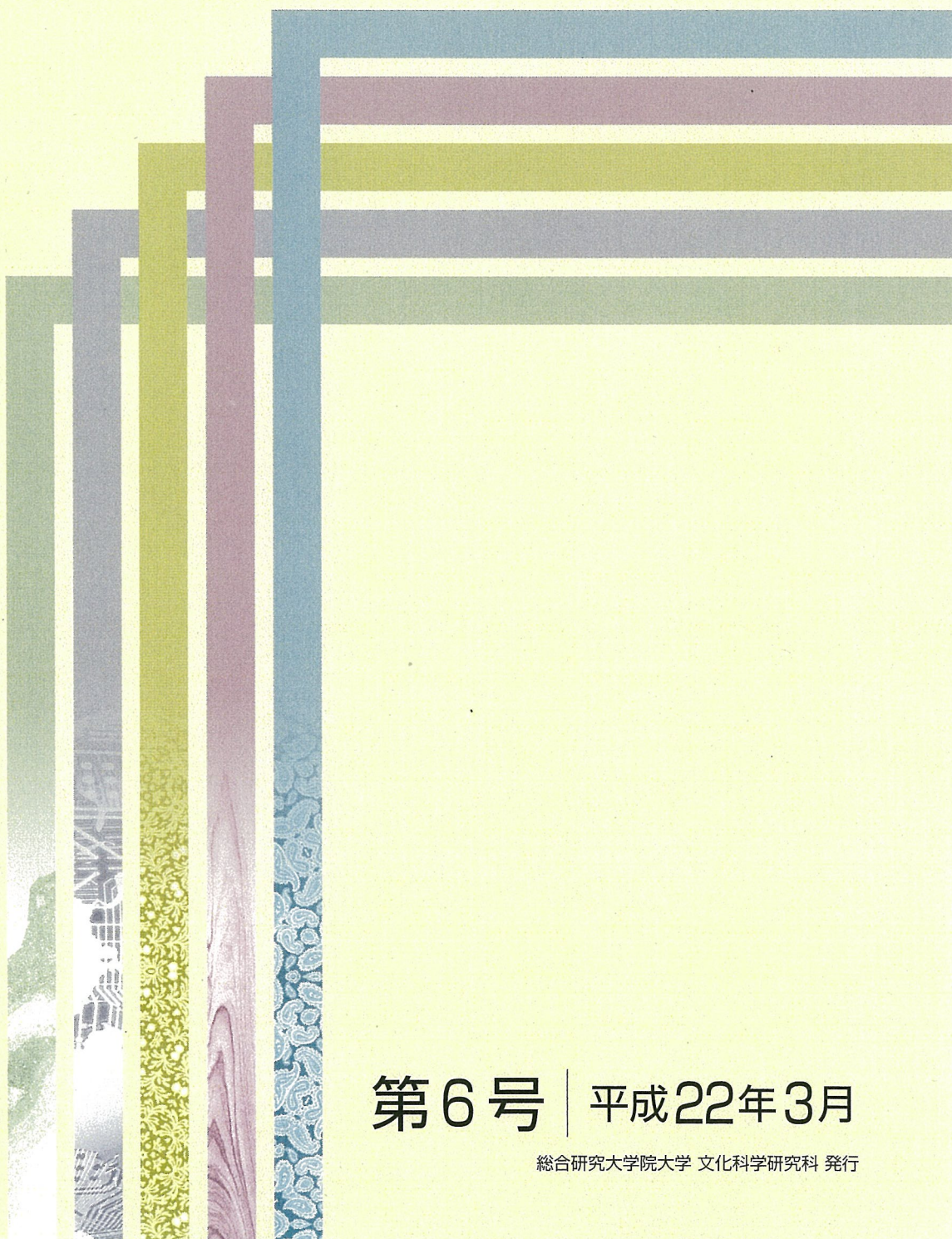


Sokendai Review of Cultural and Social Studies
総研大文化科学研究



第6号 | 平成22年3月

総合研究大学院大学 文化科学研究科 発行

総研大文化科学研究

第六号

(平成三十二年三月)

総研大文化科学研究 第六号

〈論文〉

藤原顕季の和歌と今様

..... 大野 順子

1

〈研究ノート〉

『枕草子』における「唐鏡」考

——「心ときめきするもの」の章段を中心に——

..... 張 培華

17

〈論文〉

徳宏タイ族のシャマニズム

——ムンコアンとムンヤーンにおけるシャマンの比較研究——

..... 伊藤 悟

1

〈論文〉

民族衣装の既製服化

——中国雲南省のミャオ族衣装の変化の様相——

..... 宮脇 千絵

41

〈論文〉

丘浅次郎の『進化論講話』における変化の構造

——一九〇四年版と一九一四年版の比較を通じて——

..... 佐貫 正和

65

〈論文〉

初期および中期ラスタ―彩陶器の胎土分析による生産地推定

..... 新免 歳靖

岡野 智彦

二宮 修治

99

総研大文化科学研究 創刊のことば

総合研究大学院大学文化科学研究科は、文化科学研究 (Cultural and Social Studies) の国際的、学際的な発展に寄与し、かつ、研究科内の連携強化をはかるために、高水準のレフェリー・ジャーナル (年刊) 『総研大文化科学研究』 (Sokendai Review of Cultural and Social Studies) を創刊しました。

本誌は、

- 一、広く内外から論文を募り、文化科学全般についての国際的に開かれた総合学術誌とします。論文の言語は問いません。
- 二、研究科所属の専任・客員教員、大学院生・研究生に論文発表の機会を提供します。
- 三、専門分野にとらわれない学際的、総合的な視野にたつ論文を歓迎します。
- 四、研究科が編集委員会を組織し、運営にあたります。
- 五、内外の第一線の研究者にアドバイザーをお願いし、不断に、誌の質的向上をはかります。
- 六、論文審査は関連分野の第一線の研究者に依頼します。
- 七、人文・社会系では国内初の e-journal ですが、活字媒体でも刊行します。
- 八、募集要項、編集規定を別途、掲載します。

二〇〇五年三月十五日

二〇〇四年度総合研究大学院大学・文化科学研究科長 鈴木貞美

二〇〇九年度『総研大文化科学研究』編集委員

編集委員長	池谷 和信 (地域文化学専攻・教授)
編集委員	大高 洋司 (日本文学研究専攻・教授)
編集委員	近藤 雅樹 (比較文化学専攻・教授)
編集委員	山田 奨治 (国際日本研究専攻・准教授)
編集委員	新谷 尚紀 (日本歴史研究専攻・教授)
編集委員	芝崎 順司 (メディア社会文化専攻・准教授)
編集委員	伊藤 鉄也 (日本文学研究専攻・教授)

「総研大文化科学研究」アドヴァイザリー・ボード委員

秋 道 智 彌	総合地球環境学研究所副所長
和 田 正 平	国立民族学博物館名誉教授、甲子園大学教授
James C. BAXTER	桜美林大学教授
高 橋 昌 明	神戸大学名誉教授
坂 元 昂	東京未来大学学長
ウリエム・ヤン・ボート	ライデン大学教授

「総研大文化科学研究」編集規程

平成十六年一月二十七日総研大文化科学研究編集委員会決定
一部改正 二十・十七

第一条 誌名は、『総研大文化科学研究』(Sokendai Review of Cultural and Social Studies) (以下「ジャーナル」という。)とする。

第二条 ジャーナルは、当分の間、年一回の刊行とし、総合研究大学院大学葉山本部のホームページジャーバーを用いたE-Journal及び印刷物とする。

第三条 編集委員会は、責任をもってジャーナルを刊行し、運営する。

(一) 各専攻より各一人の編集委員を選出する。ただし、専攻長の兼任をさまたげない。また、この他に研究科長、副研究科長は編集委員を兼ねるものとする。

(二) 編集委員は、無給とする。

(三) 編集委員は、当該委員が所属する専攻の専任教員とし、投稿原稿及び推薦文の受領、それらの管理、進行及びジャーナル刊行後の処置に責任を有する。

(四) 編集委員は、投稿原稿ごとに査読者を二人選定する。

(五) 編集作業及びその取扱いは、別に定める。

第四条 編集委員会は、国内外の各分野における第一線の研究者にアドヴァイザリー・ボードを委嘱する。この場合において、外国人を半数以上入れることが望ましい。

(一) ジャーナル編集上の改善策、適切な査読者の紹介等、編集委員会に助言を行う。なお、年一回の刊行につき、必ず報告書を提出する。

(二) アドヴァイザリー・ボードは、五人程度とし、その謝礼は年一回の刊行につき三万円とする。

第五条 国内外の当該分野における査読者を投稿原稿一点につき、二人委嘱する。

(一) 査読者は、編集委員会が定めた査読要領に従い、投稿原稿を査読する。

(二) 査読料は、一件につき三万円とする。

(三) 査読要領は、別に定める。

第六条 投稿要領及び執筆要領は、別に定める。なお、日本語論文についての執筆要領は、当分の間、定めないこととする。

第七条 投稿原稿及び掲載論文の区分は、次に掲げる三区分とする。

(一) 論文

(二) 研究ノート

(三) 資料紹介

附 則

この規程は、平成十六年一月二十七日から適用する。

附 則

この規程は、平成二十年十月七日から適用する。

レフェリージャーナル「総研大文化科学研究」論文募集

総合研究大学院大学文化科学研究科は、研究科内での連携強化を図り、文化科学研究 (cultural and social studies) の発展に寄与するため、高い水準のレフェリージャーナルを年一回刊行しています。

論文募集案内

【ジャーナルの特色】

※研究科所属の大学院生、修了生、研究生に論文発表の機会を提供するとともに、広く国内外から論文を募集し、文化科学全般について国際的に開かれた総合学術誌としています。

※専門分野にとらわれない学際的、総合的な視野にたつ論文も歓迎しています。

※論文審査は、関連分野の第一線の研究者に依頼します。さらには、国内外で活躍する第一線の研究者で組織したアドヴァイザリー・ボードを設置しています。

※人文社会系では国内初の e-journal ですが、活字媒体でも刊行しています。

【投稿要領及び執筆要領】

・応募資格、枚(語)数、言語は問いません。
・論文 (end note 方式、欧文の場合は両端揃えなし) には、次に掲げる書類を必ず添付してください。

・当該言語ないしは日本語のサマリー (A4 四〇×四〇字、一〜二枚程度) 、key word (五〜一〇)

・英文サマリー (A4 double space 〇・五〜一枚) 、key word (五〜一〇)

・本文化科学研究科の専任教員による推薦文

推薦文は、日本語または英語で、推薦する論文の「テーマ、方法、学術上の意義」について、A4 (日本語の場合四〇×四〇、英語の場合 double space) 一枚程度とします。

・総研大 (専任・客員) 教員が応募する場合は、自薦文を上記要領でつけてください。

・論文の区分は、①論文、②研究ノート、③資料紹介 の三分とします。

・カラー図版は、論文ごとにまとめて掲載します。

・締め切り 別途指示

・提出先 推薦者の所属する専攻の本誌編集委員

・刊行予定 毎年度末

・論文標記の体裁については本研究科各専攻の本誌編集委員にお尋ねください。

総研大文化科学研究 (Soken Dai Review of Cultural and Social Studies) 第六号

発行日 平成二十二年三月三十一日

編集 総合研究大学院大学 文化科学研究科 編集委員会

編集委員長 池谷和信

発行所 総合研究大学院大学 文化科学研究科

事務局 総合研究大学院大学 基盤総括事務局

〒二四〇〇一九三 神奈川県三浦郡葉山町 (湘南国際村)

電話 〇四六―八五八一五八三

FAX 〇四六―八五八一五四一

URL http://www.initiative.soken.ac.jp/journal_bunkai/index.html

印刷 中西印刷株式会社